

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、雇用保険受給者をはじめとする求職者の就職支援を一層促進するため、雇用保険受給者の早期再就職件数の目標達成を特に重点的に進めることとし、雇用保険受給者に対して求職者担当者制の強化を図り、積極的な来所相談の勧奨、求人情報の提供等を行い早期再就職に繋がるように努めた結果、早期再就職件数は目標を達成しました。今後も、求職者担当者制を中心に雇用保険受給者の就職促進の取組を継続します。

また、計画的な事業所訪問、求人者への求職者ニーズの説明等により正社員求人の受理件数の増加が図られ、正社員求人数は目標を達成しました。これらの求人に対し求人担当者制によるマッチングを行った結果、正社員就職件数は目標を達成しました。波及効果として、就職件数と充足数の目標達成に繋がりました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、全職員・相談員を対象にP D C Aサイクルの円滑な運営を行うための研修を実施しました。加えて、若手職員を対象に窓口業務の資質向上のための研修を実施しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

早期の求人充足及び有効求人への質の向上、求人充足サービスの一環として、所内において求人事業所の会社説明会を、昨年度に引き続き実施しました。この説明会は、求人者と求職者が気軽に情報を交換できる場であり、求人者が求職者ニーズに応じた求人条件の緩和を行う機会を得る場となっています。このような求人者と求職者が直接お互いの考えを訊くことができる機会を設けることにより、雇用のミスマッチの解消に繋がるよう努めました。また、説明会実施にあたり、「就活応援カレンダー」（事業所説明会等のイベントを記載したカレンダー）を作成し、庁舎内に掲示することにより、求職者への周知を図りました。

### （3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度の管内の雇用情勢は、有効求人倍率が1.00倍以上となっており良好な状態を維持していましたが、一方では各種産業において人手不足が顕在化しました。このような中、令和2年度はマッチング関係業務の各項目について目標を達成できるように、求人者支援・求職者支援

に努めます。

求職者ニーズに合った職業紹介を進めるとともに雇用保険受給者を中心とした求職者担当者制の一層の強化を図ります。また、求人担当者制や求人事業所の所内会社説明会をはじめとした求人充足支援サービスの充実・強化を図ります。

さらに、求人者へは求人充足促進に向けた求人緩和等について積極的に働きかけ、求職者へは積極的な求人情報の提供を行い、能動的な求人・求職のマッチング等を推進し、これまで以上のきめ細やかな就職支援サービスの提供に努めます。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により「新しい生活様式」が提言される中、求人者支援・求職者支援については、今後の状況に応じた、工夫を凝らした取組を検討します。

#### (4) その他業務運営についての分析等

令和元年度の当所の紹介就職者の約4割が管外事業所へ就職する状況にありました。今後は、求職者に対して、管内事業所へ目を向けていただく工夫を図りつつ、管内求人への積極的な斡旋に取り組みます。

## 2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

## 3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	—	—
実績	1,612	1,353	576	38.4%	54.5%	81	3,679	852		
目標	1,604	1,302	455	41.8%	55.3%	45	3,600	750		
目標達成率	100%	103%	126%	91%	98%	180%	102%	113%		

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率